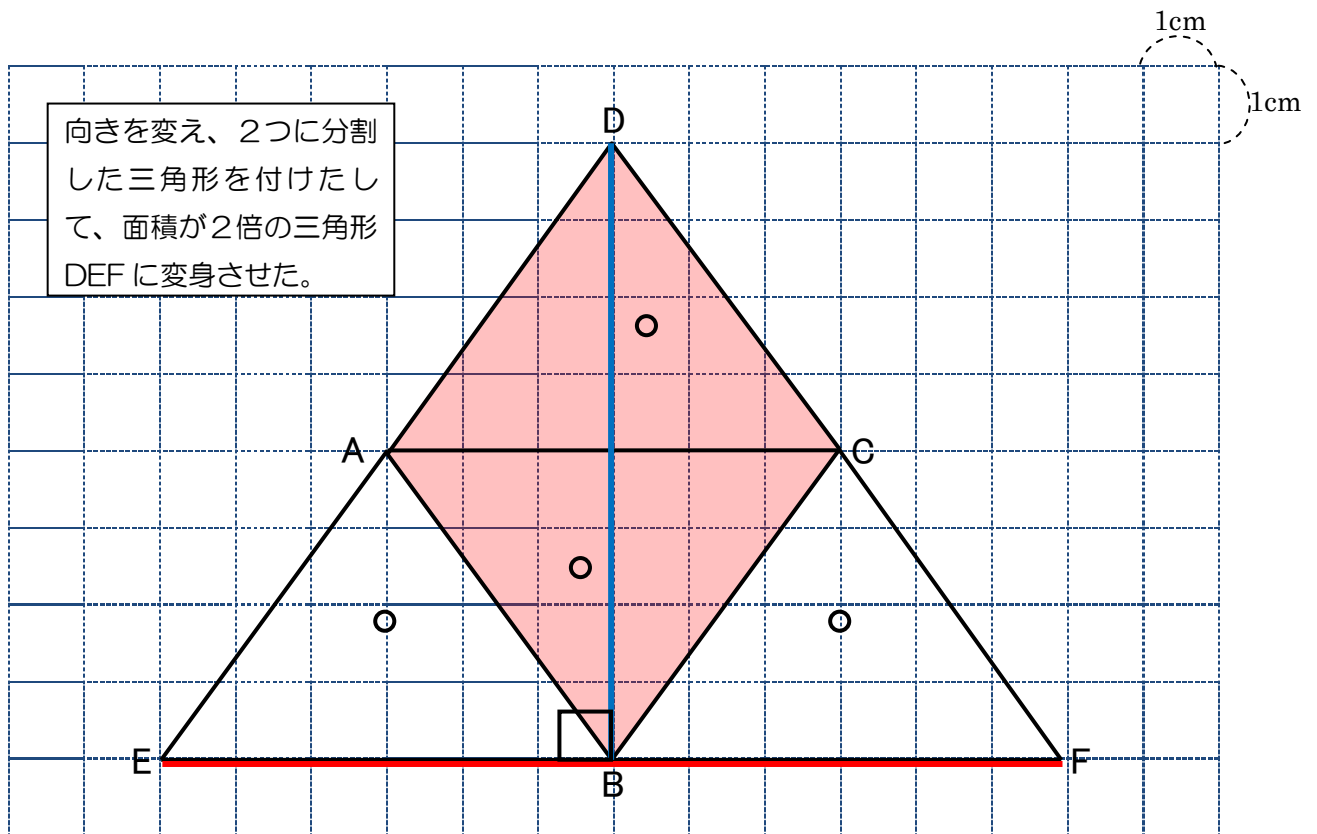


○ 下のひし形 ABCD の面積の求め方を考える。【〇〇さんの考え】



$$\text{ひし形 ABCD} = \underline{\text{三角形 DEF}} \div 2$$

$$= \underline{(\underline{\text{底辺 EF}} \times \underline{\text{高さ DB}} \div 2)} \div 2$$

$$= (\underline{\text{対角線 AC} \times 2} \times \underline{\text{対角線 DB}} \div 2) \div 2$$

$$= (\underline{\text{対角線 AC}} \times \underline{\text{対角線 DB}}) \div 2$$

$$2 \div 2 = 1$$

ひし形の面積＝一方の対角線×もう一方の対角線÷2

単元を通して、ワークシートや図形のシートを利用しながら面積の求め方を考えてきた結果、等積や倍積、分割といろいろなパターンが見えてきたので、向きを変えたりしながら考えたりと柔軟な考え方が育ちました。アルファベットや色を工夫して説明もできました。